

3 呉駅周辺地域総合開発の推進

土木建築局・都市建築技術審議官

提案の要旨

呉駅周辺地域総合開発の実現に向けた支援・予算の確保をお願いします。

現状及び課題

呉駅周辺地域は、平成25年1月に閉店した旧そごう呉店跡地の再生や、老朽化に加え一般車が進入できない駅前広場の抜本的な機能強化、歩行者のバリアフリー動線の確保等が課題となっています。

また、平成30年7月豪雨災害の際には、呉駅はJR代行バスの発着点となり、呉中央栈橋は緊急輸送船の発着場所となるなど、当地域は、代替交通の拠点としても大きな役割を担っています。

こうした課題や教訓を踏まえ、呉市の玄関口としてふさわしい駅周辺整備を推進するため、平成30年5月に都市交通や再開発の専門家から成る「呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会」を設置し、平成31年3月には、同懇談会から「呉駅は鉄道駅だけでなく、バスや港の総合交通拠点に、そしてまちづくりの核にしていくこと」等の提言を頂きました。

また、令和元年7月に「呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会」を設置し、周辺地権者や交通事業者、国・県の関係部局等にも御参画いただきながら更に検討を重ね、令和2年4月に「呉駅周辺地域総合開発基本計画」を策定しました。

この基本計画では、地域全体を総合交通拠点として捉え、市全体の交通まちづくりの起点となる、次世代モビリティにも対応した機能整備を推進するとともに、生活に必要な都市機能等を誘導し、Society5.0の実現に向けた先駆的サービスが展開される次世代のまちなか居住エリアの創出を目指し、中・長期的なロードマップを示しています。

その第一歩となる第1期開発では、国等の主導により、既存の駅前広場を1階は交通ターミナルに、2階はデッキ広場に再整備するとともに、JR呉駅の橋上駅화를推進し、さらに官民連携により、これらと一体となる複合施設を旧そごう呉店跡地に整備することを目指しています。

今後、事業の早期実現に向けて、関係機関との協議・調整、開発事業者の選定、事業計画等の策定等を更に進めていく必要があります。

取組状況等

- | | | |
|-------|----|--|
| 平成31. | 3 | 呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会から呉市へ「呉駅周辺地域総合開発に関する提言書」を提出 |
| 平成31. | 3 | 「駅を中心とした新たな呉のまちづくりに関するフォーラム」開催
※懇談会からの提言内容を市民等に広く周知 |
| 令和元. | 7 | 呉駅周辺地域総合開発検討会 第1回会議
(議事概要) 提言書を踏まえた今後の進め方について |
| 令和元. | 11 | 呉駅周辺地域総合開発検討会 第2回会議
(議事概要) 市民アンケート、対話型ニーズ調査等について |
| 令和2. | 2 | 呉駅周辺地域総合開発検討会 第3回会議
(議事概要) 基本計画(骨子案)等について |
| 令和2. | 3 | 呉駅周辺地域総合開発検討会 第4回会議
(議事概要) 基本計画(案)について |
| 令和2. | 4 | 「呉駅周辺地域総合開発基本計画」策定 |

提案の内容

○ 呉駅周辺地域総合開発の実現に向けた支援・予算の確保

呉駅周辺地域総合開発の実現のため、令和2年4月に基本計画を策定し、引き続き、第1期開発に係る開発事業者の選定、事業計画の策定等に向けて作業を進めています。ついては、第1期開発を始めとする本事業の推進のための支援及び必要となる財源の確保に向けて、国への働き掛けをお願いします。

呉駅周辺地域総合開発基本計画

■ 基本理念

まちの魅力とひとの交流をつなぎ、広げ、新たな価値を創造する
「交通まちづくりとスマートシティの発信拠点の形成」

ビ ジ ョ ン

ビジョン1
交通まちづくりの起点となる
“次世代型”総合交通拠点の形成

ビジョン2
市民と来訪者が憩い、賑わい、
快適に移動できる駅前空間の創出

ビジョン3
災害時にも頼りになる
防災対応型交通拠点の形成

ビジョン4
歩きたくなる・
住みたくなる
「心地よく過ご
せるまちなか」
の形成

まちづくりの課題解決を継続的に提案

ビジョン5
「公・民・学」一体で課題を解決し続けるまちづくり



駅ビルから出て2階デッキの上から灰ヶ峰を見た景色

10 市道整備の推進

土木建築局・都市建築技術審議官

提案の要旨

市民の日常生活を支える市道の計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。

現状及び課題

道路は社会・経済活動を支える根幹であり、都市が持続的に発展していくためには、広域的な移動を支える幹線道路と広域的な道路を補完し地域内の活動を担う生活道路が、体系的・機能的に連携した道路網として、バランス良く整備されていることが重要です。

このため呉市では、都市間の連携強化に資する幹線道路を国・県に整備いただき、地域内の課題解決に必要な道路整備については、市が推進することで道路網の充実・強化を図っています。

現在、呉市が積極的に推進している事業は、いずれも国土交通省の補助事業や交付金の重点配分の考え方に沿ったものであり、新たに整備される地域高規格道路ⅠCへのアクセス道路、通学路への歩道整備など地域が一体となって推進する交通安全事業、緊急輸送道路の橋りょう耐震補強、防災・減災・強靱化対策として取り組む道路整備等です。

道路は地域経済を支え、安全で安心なまちづくりに不可欠であることから、道路整備に関する多くの要望がありますが、早期効果の発現を目的にプライオリティに基づいて計画的に整備を推進していく必要があると考えており、呉市の道路事業についても効率的・効果的に整備が進むよう、必要な予算の確保をお願いします。

取組状況等

道路整備促進期成同盟会全国協議会広島県地方協議会

構成団体 22市町

令和元年 5月 国会議員，財務省，国土交通省に要望

令和元年 9月 国会議員，国土交通省に要望

令和元年10月 国会議員，財務省，国土交通省に要望

事業予定

道路局所管

時 期	焼山矢野線 ほか1路線	丸谷8号線 寺谷橋
令和2年度	用地買収	耐震補強工事
令和3年度	用地買収	耐震補強工事

都市局所管

時 期	中央二河町線	横路1丁目白石線 ほか2路線	天応西条3丁目7号線 ほか1路線
令和2年度	測量，設計	用地買収，工事	測量，設計
令和3年度	測量，設計，用地買収	用地買収，工事	用地買収

事業経緯

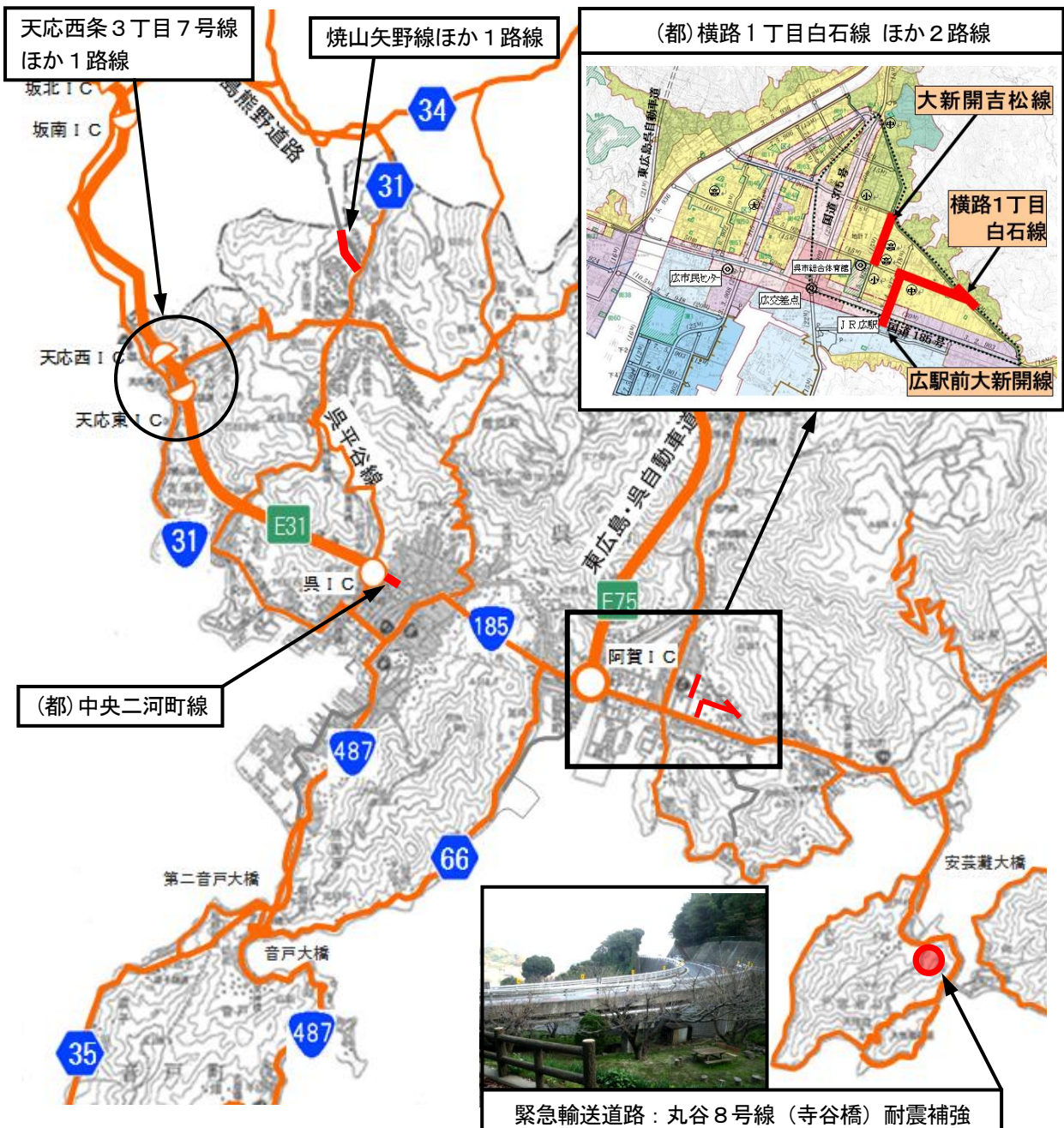
中央二河町線

平成31年3月 広島呉道路4車線化の事業決定

令和2年度 事業認可

提案の内容

- **広島呉道路4車線化関連の(都)中央二河町線の計画的な整備に必要な予算の確保**
 広島呉道路の呉ICへ直結する道路の整備であり、広島呉道路4車線化と一体で推進する事業であることから、計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。
- **焼山地区の焼山矢野線 ほか1路線の計画的な整備に必要な予算の確保**
 バイパス整備により狭あいでの交通量が多く危険な通学路の通過交通をバイパスに転換させる重要な事業であり、県の焼山押込線の整備と一体的に推進していることから、計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。
- **広駅前地区の(都)横路1丁目白石線 ほか2路線の計画的な整備に必要な予算の確保**
 広駅前地区を活性化し、通学路交通安全プログラムに基づく重要な道路整備であることから、計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。
- **丸谷8号線の寺谷橋の早期耐震化に必要な予算の確保**
 緊急輸送道路における橋りょうの耐震補強工事であり、自然災害が激化し、巨大地震が切迫していることから、早期完成が図られるよう、必要な予算の確保をお願いします。
- **天応地区の天応西条3丁目7号線 ほか1路線の早期整備に必要な予算の確保**
 平成30年7月豪雨災害で最も甚大な被害が発生した天応地区における防災・減災・強靱化対策のための道路整備であり、早期完成が図られるよう、必要な予算の確保をお願いします。



12 砂防・急傾斜地崩壊対策事業の加速と適切な維持管理等による事前防災対策の推進

土木建築局

提案の要旨

生命、財産及び企業活動等を守るために、砂防・急傾斜地崩壊対策事業等のハード対策の加速と防災意識社会構築のためのソフト対策の充実・強化をお願いします。

現状及び課題

呉市では、過去から大規模な土砂災害が幾度となく発生し、その都度国や県により緊急的な砂防事業を実施いただくとともに、計画的に土砂災害対策を推進いただいたことから、整備率は全国平均を上回っています。

しかしながら、平成30年7月豪雨災害では、市内で29名もの尊い命が奪われたほか、約3千2百棟余りの家屋が被害を受けるとともに、道路や鉄道の寸断、広範囲にわたる水道の断水など、市民生活や経済活動の基盤となるあらゆるインフラにも多大な被害が発生しました。

近年、時間雨量50mmを超える雨が頻発し、平成30年度の県内の土砂災害発生件数は、1,242か所[※]と、全国の1年間で発生する土砂災害の数(約1,000か所/年)を上回るなど、異常気象と自然災害は激化しており、安全で安心なまちづくりを実現するためには、砂防えん堤や急傾斜地崩壊対策施設の整備は不可欠です。

また、土砂災害警戒区域等の指定については、令和元年度までにおおむね完了いただき、市民の防災意識の向上に大変役立っており、防災情報を適切な避難行動に結び付けるためにも、ソフト対策の更なる充実・強化が極めて重要です。

このようなことから、ハード・ソフト一体となった総合的な土砂災害防止対策を強力に推進いただく必要があると考えています。

※県内の土砂災害発生件数1,242か所は広島県公表数値(土砂災害警戒区域等及びその周辺で発生した数)

取組状況等

砂防関係要望活動

- 令和元年5月 全国治水砂防協会通常総会
- 令和元年6月 呉市主要事業説明会(国会議員、財務省、国土交通省に要望)
- 令和元年11月 全国治水砂防促進大会

ハード施設の整備率(呉市)

分類	整備対象 ^{※1}	整備済	整備率	全国平均 ^{※2}
砂防施設	586	257	43.9%	約22%
急傾斜地崩壊対策施設	1,147	715	62.3%	約26%
合計	1,733	972	56.1%	

※1 土砂災害危険箇所(平成14年度公表)のうち、ランクI(人家5戸以上又は公共施設を有する箇所)から抽出

※2 国が公表している「土砂災害危険箇所の整備状況(H21年度末)」を計上

土砂災害警戒区域等の指定状況

分類	対象箇所 ^{※1}	指定済	整備率	全国平均 ^{※2}
土石流	1,468	1,463	99.7%	約9割
急傾斜	2,638	2,609	98.9%	

※1 「基礎調査実施計画」および「平成30年7月豪雨災害」を踏まえた土砂災害警戒区域等の対象箇所を計上

※2 国が公表している「全国における土砂災害警戒区域の指定状況(R02.2.29時点)」から推計値を分母した割合

整備状況

分類	砂防アクションプラン ^{※1}		H30.7月豪雨災害対応 ^{※2}	
	R2迄に完成	R2以降も継続	国	県
砂防施設	2	9	9	27
急傾斜地崩壊対策施設	3	9	—	6

※1 砂防アクションプランは、県が策定した砂防・急傾斜事業等に係る5か年実施計画(H28~R2)

※2 「平成30年7月豪雨 砂防治山施設整備計画(緊急事業、激特事業等)」に掲載の事業を計上

提案の内容

○ 平成30年7月豪雨災害関連事業の早期完成

再度災害防止として国・県に実施いただいている緊急砂防・急傾斜地崩壊対策事業の早期完成をお願いします。

○ 計画的な土砂災害対策の推進

砂防アクションプランに基づき砂防・急傾斜地崩壊対策事業の計画的な推進をお願いします。また、災害に強い安全・安心なまちづくりの実現に向けて新規要望箇所についても早期事業化をお願いします。

・砂防施設

(継続事業) 光明寺川, 中須賀川, 東須川, 神開川, 塩谷川, 小原川, 碓ノ元川, 檜垣川, 中小坪川

(新規要望) 防災拠点・避難所(小中学校等)や住宅密集地等の保全及び山地荒廃等により緊急性が高い溪流について, 積極的な事業化をお願いします。

・急傾斜地崩壊防止施設

(継続事業) 宮原1丁目70, 吉浦宮町町4, 畑3丁目, 北隠渡2丁目, 早瀬3丁目A, 海越南, 阿賀南6丁目3, 川尻町小用1丁目

(新規要望) 音戸高校下, 荘田, 内神20, 小仁方, 天応東久保2丁目4, 波多見7丁目, 西惣付町5 ほか

○ 実効性のある避難を確保するためのソフト対策の充実・強化

災害情報を適切な避難行動につなげるために, 土砂災害警戒区域の指定等に関する情報発信, 学校での防災教育等, ソフト対策の充実・強化をお願いします。

○ 安全・安心を確保するための既存施設の適切な維持管理

施設が本来有する機能を十分に発揮するため, 適切な点検・補修等をお願いします。

特に砂防施設については, 市民はなじみが薄いため十分な理解がなされておらず, 不安を抱く人も多いことから, 点検結果と埋積土砂撤去の考え方等の公表もお願いします。

平成30年7月豪雨により天応地区を襲った土石洪水流



大屋大川

土石流を捕捉し, 被害を軽減した砂防えん堤 (一部破損)



背戸の川

学校での防災教育 (がけ崩れ模型を活用した体験)



天応小学校

13 県営治山事業及び小規模崩壊地復旧事業の促進

農林水産局森林保全課

提案の要旨

県営治山事業の一層の促進と小規模崩壊地復旧事業の推進に向けた財源確保をお願いします。

現状及び課題

近年、全国的に異常気象による局地的な集中豪雨が頻発し、山地においても、山腹崩壊、土石流等の災害が発生しています。

呉市では、平成30年7月豪雨により市内各地で、山林崩壊（山腹崩壊、土石流等）による大規模な山地災害が多発し、市民の生命や財産に甚大な被害が生じ、今なお市民生活に深刻な影響を与えています。

被災箇所については、一部で緊急の治山事業が事業化されている一方で、今なお山地災害が懸念される箇所が残っています。

市民の安全・安心な生活環境の確保のためには、被災山地の復旧や再度災害防止、荒廃山地の災害予防などの治山事業の実施が急務となっています。

取組状況等

○ 県営治山事業の進捗状況

【平成30年7月豪雨災害関連事業】

・災害関連緊急治山事業

令和元年度 全6か所中、全件の工事に着手し、1か所事業完了

令和2年度 残り5か所の工事を継続して実施

・林地荒廃防止施設災害復旧事業

令和元年度 全5か所中、全件の工事に着手し、1か所事業完了

令和2年度 残り4か所の工事を継続して実施

・治山激甚災害対策特別緊急事業

令和元年度 全49か所中、16か所の測量及び試験の実施

令和2年度 全49か所中、10か所の工事を実施

令和3年度～5年度 全49か所中、残事業箇所の工事を順次実施

【通常事業】

・復旧治山事業

令和元年度 全1か所中、1か所の工事に着手

令和2年度 全1か所中、1か所の工事を継続して実施

令和3年度 (新規要望) 3か所

・予防治山事業

令和元年度 全1か所中、1か所の工事を発注済

令和2年度 全1か所中、1か所の工事を実施(令和2年4月20日契約)

令和3年度 (新規要望) 4か所

・林地荒廃防止事業

令和元年度 全1か所中、1か所の測量及び試験の実施

令和2年度 全1か所中、1か所の工事を実施

令和3年度 (新規要望) 30か所

○ 小規模崩壊地復旧事業(呉市事業箇所)の実施状況

令和元年度 音戸町渡子2丁目ほか4か所(令和2年度へ繰越)

令和2年度 広白石3丁目ほか3か所を追加実施

提案の内容

○ 平成30年7月豪雨災害関連事業の早期完成

再度災害防止として実施いただいている災害関連緊急治山事業、林地荒廃防止施設災害復旧事業及び治山激甚災害対策特別緊急事業の早期完成をお願いします。

また、治山激甚災害対策特別緊急事業（事業期間 ～令和5年度）の未着手の事業箇所についても、早期完成に向けて計画的な推進をお願いします。

○ 通常事業の推進

災害に強い安全・安心なまちづくりの実現のため、荒廃山地の災害予防へ向けて、復旧治山事業、予防治山事業及び林地荒廃防止事業の早期完了、新規要望箇所の早期事業化をお願いします。

○ 安全・安心を確保するための既存施設の適切な維持管理

施設が本来有する機能を十分に発揮するため、適切な点検・補修等、計画的な維持管理の推進をお願いします。

○ 市施工の小規模崩壊地復旧事業の推進に向けた予算化（県補助金：事業費の1/2）

県営治山事業と同様に、小規模崩壊地復旧事業による荒廃林地の復旧又は荒廃のおそれのある林地の予防は、災害予防へ向けた重要な事業であり、継続して十分な財源確保をお願いします。

平成30年7月豪雨 被災状況

〔安浦町中畑エフリ谷〕山林崩壊状況（その1）



〔安浦町中畑エフリ谷〕山林崩壊状況（その2）



14 農業用ため池の整備・廃止・管理等の推進

農林水産局ため池・農地防災担当

提案の要旨

「ため池の整備・廃止・管理等に関する方針」に基づく対策の推進をお願いします。

現状及び課題

呉市は、瀬戸内海式気候に位置し、年間降水量が少ないことに加え、農業用水として利用できる大きな河川が少なく、さらには農地の多くが、山地に囲まれた狭い谷間に細長く広がっていることから、農業生産に不可欠な水源となる農業用ため池が築堤されてきました。

しかし、離農や高齢化により利用者を主体とする管理組織が弱体化したことから、農業用ため池の管理が行き届かなくなるなどの問題が顕著化しています。さらには、農業用ため池の下流域の宅地化が進んだ状況を踏まえ、防災・減災対策を講じる必要性があります。

こうした中、平成30年7月豪雨により、堤体の損壊等による被害が市内各地で発生しました。また、これらの農業用ため池の中には、降雨による急激な水位上昇が引き金となって決壊したケースも見受けられました。

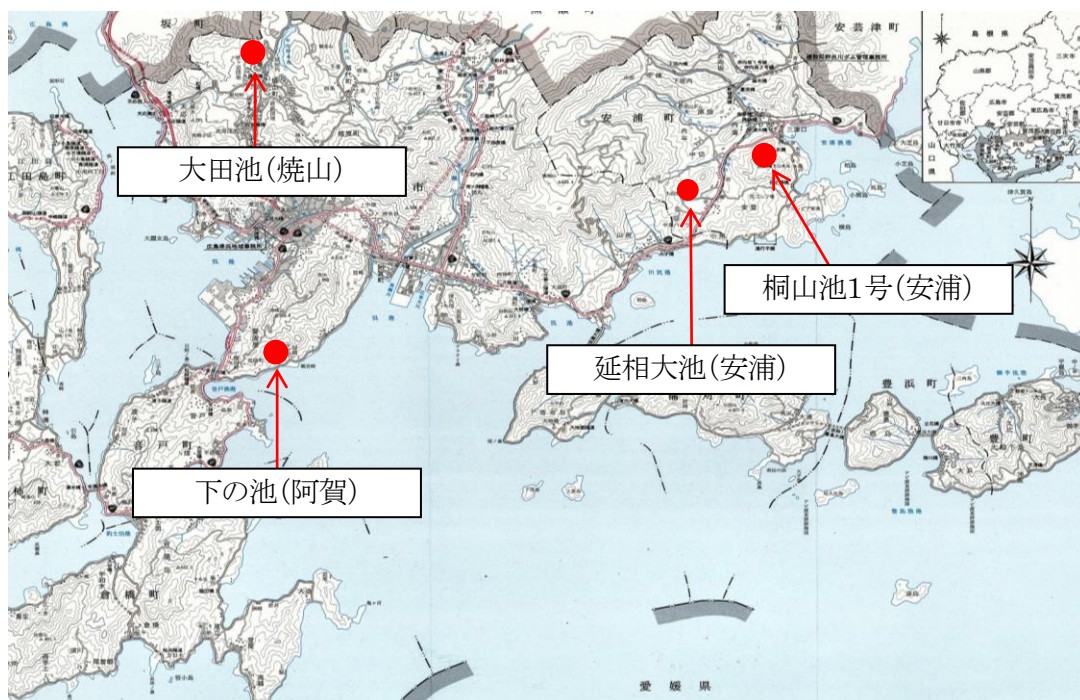
このため、被害があった農業用ため池に対しては速やかに農業生産活動が再開できるように機能回復を図るための災害復旧事業を進めるとともに、今後、被害発生のおそれがある箇所を調査するなど、広島県が策定した「ため池の整備・廃止・管理等に関する方針」に基づき、県・市が一体となって対策を計画的に推進する必要があります。

取組状況等

○ 農業水路等長寿命化・防災減災事業（ため池の廃止）

- ・令和元年度 しろご池(中央), 下の池(阿賀), 堀池(蒲刈), 桐山池1号(安浦) 【測量設計】
- ・令和2年度 しろご池(中央), 堀池(蒲刈) 【工事】
〃 大田池(焼山), 延相大池(安浦) 【測量設計】
- ・令和3年度 下の池(阿賀), 大田池(焼山), 延相大池(安浦), 桐山池1号(安浦) 【工事要望】

【令和3年度要望箇所】



提案の内容

○ ため池の整備・廃止・管理等の計画的な推進

災害に強い安全・安心なまちづくりに向けて、農業用ため池による人的な被害を未然に防止することに努めるとともに、下流域の被害が最小となるよう、広島県が策定した「ため池の整備・廃止・管理等に関する方針」に基づき、県・市・管理者等の連携による計画的な推進をお願いします。

特に、廃止工事の実施については、農業用水に利用されなくなり、管理が不十分なまま放置されたため池は健全度が急速に低下し、決壊した場合に人的被害を与えるおそれがあるため、県・市の更なる連携強化による事業の推進をお願いします。（R2年度：2か所実施，R3年度：4か所要望）

（参 考）ため池の整備・廃止・管理等に関する方針

●方針の対象

農業に利用するための用水を確保する目的で設置された貯水施設

●対策の期間

集中対策期間 令和元年度～令和3年度

●対策の概要

1 迅速な避難行動につなげる対策の推進

対策の区分
① ため池マップ作成・公表（位置、名称等の基礎情報を図上で表示等）
② 緊急連絡体制の整備（ため池管理者、行政、警察、消防等の連絡体制の整備等）
③ 浸水想定区域図作成・公表（決壊した場合に浸水被害が発生する範囲を図上表示等）
④ 地域防災計画などへの位置付け
⑤ ため池データベースの再整理と活用
⑥ ハザードマップの作成・公表（住民が避難行動をとるために必要な情報を整理等）
⑦ ため池災害支援システム等の活用、水位計等を活用した監視体制強化（遠隔地にあるため池の状況を迅速に把握するための仕組みの整備等）

2 農業用水として利用するため池の管理強化と補強

対策の区分
① 保全管理体制の強化（定期点検や低水位管理等による保全管理の強化等）
② 機能維持のための補強対策（耐震・豪雨診断及び耐震補強、改修等）



【写真1】

①保全管理体制の強化（維持管理）



【写真2】

②機能維持のための補強対策（改修工事）

3 農業用水として利用しなくなったため池の統合・廃止

対策の区分
① ため池の統合・廃止（利用しなくなった、ため池の廃止工事等）



【写真3】

①ため池の統合・廃止（廃止工事）

15 県管理河川の早期改修と適切な維持管理等 による事前防災対策の推進

土木建築局

提案の要旨

気候変動による豪雨の頻発化・激甚化を見据え、河川改修等の事前防災対策の加速と防災意識社会構築のためのソフト対策の充実・強化をお願いします。

現状及び課題

呉市は、平成30年7月豪雨により、多くの河川が氾濫し、道路の冠水や宅地の大規模な浸水によって、甚大な被害が発生しました。

最も浸水被害が大きかった安浦地区においては、二級河川野呂川水系で河道に流れ込んだ土砂や流木によって野呂川がいつ水し、中畑川では破堤や越水が発生した結果、中心市街地では約60ヘクタールの区域が浸水し数多くの家屋が被害を受けるとともに、大規模店舗などが復旧を断念し閉店するなど、市民生活に大きな影響が発生しています。

また、これまでも度々浸水被害が発生している中央地区においても、二級河川堺川水系（堺川・内神川）の氾濫によって、防災中枢拠点である呉市役所本庁舎周辺の道路が冠水し、避難行動や救命救急活動に支障を来しました。

このことから、野呂川水系及び堺川水系においては抜本的な改修が不可欠であり、異常気象や自然災害が激化しているため、地域の安全・安心の確保のため早期改修が必要だと考えています。

更に、黒瀬川においては、改修済みであったため大きな被害は免れましたが、大量の土砂流出により、大半の区間で著しく土砂が堆積しており、十分な治水安全度が確保できていないと懸念しています。緊急的な浚渫^{しゅんせつ}は行っていただきましたが、河川が本来有する機能を十分に発揮するためには計画的な浚渫や適切な維持管理が必要だと考えています。

最後に、昨年から設置していただいている河川監視カメラは、市民の防災意識の向上にも大変役立っており、リアルタイムで河川の情報を伝えることは、防災情報を適切な避難行動につなげることに大変効果的だと考えています。

呉市の浸水戸数

(水害統計調査より)

時 期	床下浸水	床上浸水	主な浸水箇所
平成11年度	640戸	821戸	呉市中心部
平成21年度	1戸	5戸	呉市中心部
平成22年度	283戸	129戸	呉市中心部
平成30年度	785戸	625戸	呉市中心部・安浦町

取組状況等

河川関係要望活動

- 令和元年5月 全国治水期成同盟会
- 令和元年6月 呉市主要事業説明会（国会議員，財務省，国土交通省に要望）
- 令和元年11月 治水事業促進全国大会

事業予定

時 期	野呂川	内神川	黒瀬川
令和2年度	河川整備計画策定	設計，補償工事	災害復旧，浚渫
令和3年度	基本設計	補償工事，管きょ工事	災害復旧，浚渫

提案の内容

- **二級河川野呂川水系(野呂川・中畑川)の河川整備計画の早期策定と早期事業化**
予定どおり令和2年度中に河川整備計画を策定いただき、早期事業化をお願いします。
- **二級河川塚川水系内神川の早期改修**
防災中枢拠点である呉市役所周辺の浸水対策として早期改修をお願いします。
- **実効性のある避難を確保するためのソフト対策の充実・強化**
防災情報を適切な避難行動につなげるために、河川監視カメラの設置等、ソフト対策の充実・強化をお願いします。

【安浦地区の浸水被害(平成30年7月7日)】



【中央地区(市役所周辺)の浸水被害(平成30年7月7日)】



16 防災中枢拠点である中央公園の更なる機能強化

都市建築技術審議官

提案の要旨

大災害に備え、防災中枢拠点である呉市役所の災害対応能力を向上させるために、中央公園の機能強化に必要な予算の確保をお願いします。

現状及び課題

近年、異常気象と自然災害が激化し、巨大地震が切迫していることから、想定される災害応急活動等の役割に応じた機能を、複合的に有する防災拠点の整備は不可欠です。

中央公園は、呉市地域防災計画において、発災直後の広域避難場所に指定されており、災害対応時には隣接する呉市役所本庁舎と一体となって市の中枢的な防災活動を担う防災中枢拠点として位置付けられています。

しかしながら、現在の中央公園は大雨の度に園内を流れる内神川のいっ水により浸水し、さらには避難者の受入れに必要な面積も不足しているなど、避難場所・防災拠点として求められる機能が十分に確保されていません。

このため呉市では、広島県による内神川の整備とあわせて、中央公園を防災公園として整備し、防災機能の強化を図ることとしています。

防災公園は、市民の皆様により日常的に利用いただき、親しんでいただくことで、災害時にも迅速な避難が可能となり、スムーズに利用いただけるものと考えており、このため平時においても魅力的で利便性が高く、多様な機能を備えた公園を整備していくことが重要だと認識しています。

大災害に備え、防災公園として機能強化を図る中央公園の計画的な整備に必要な予算の確保をお願いします。

取組状況等

公園関係要望活動

令和元年6月 呉市主要事業説明会（国会議員、財務省、国土交通省に要望）

事業予定

時期	中央公園整備事業
令和2年度	設計
令和3年度	工事

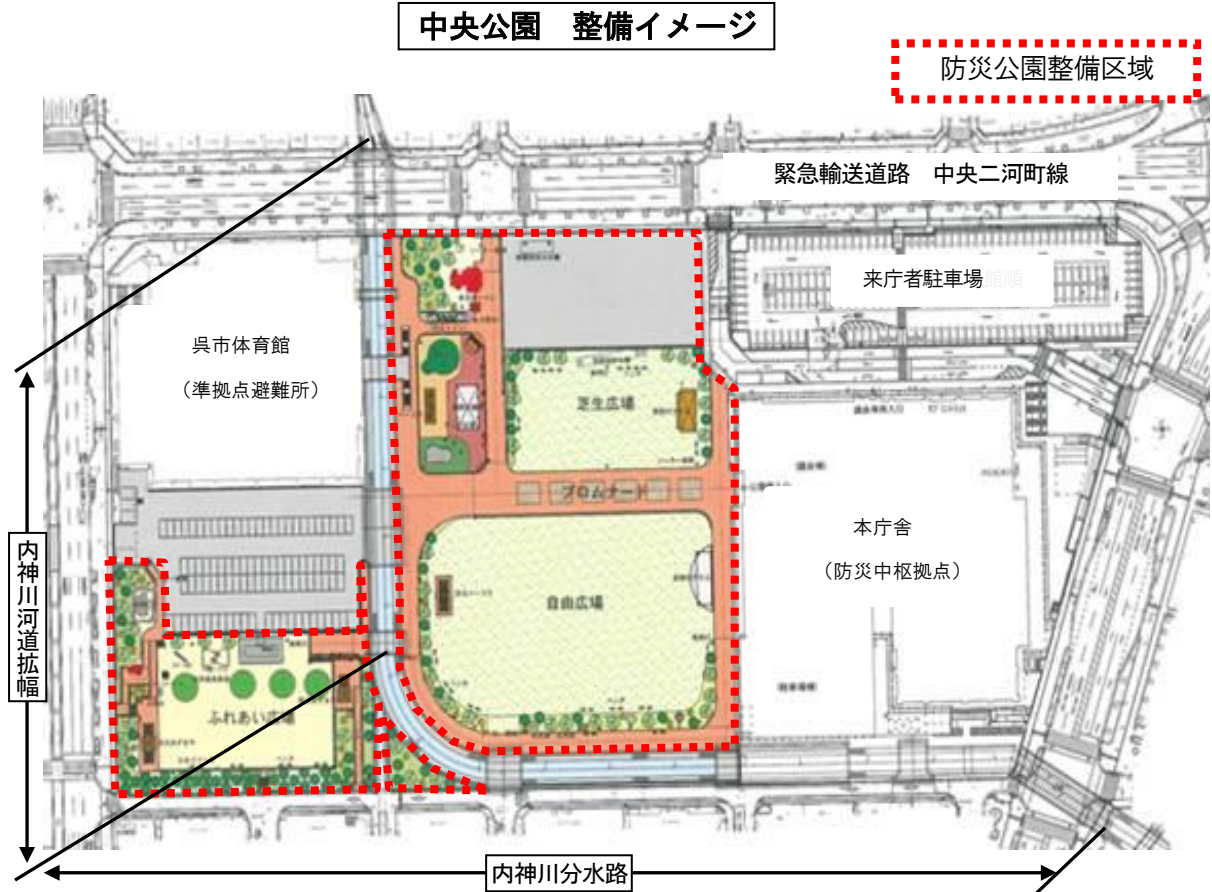
事業経緯

昭和47年 中央公園完成
平成11年6月 6.29豪雨により浸水
(以降、平成21年7月、平成22年7月、平成30年7月に浸水)
平成24年5月 呉市地域防災計画策定
(防災中枢拠点、かつ、中央地区の広域避難場所に位置付け)
平成28年度 中央公園整備基本計画
令和元年度 平成30年7月豪雨による被災を踏まえた基本計画の検証

提案の内容

○ 防災中核拠点である中央公園の機能強化

安全で安心な都市づくりには、都市の防災機能の向上が不可欠です。県の内神川河川改修事業と一体で行う中央公園の防災機能の強化に必要な予算の確保をお願いします。



呉市体育館

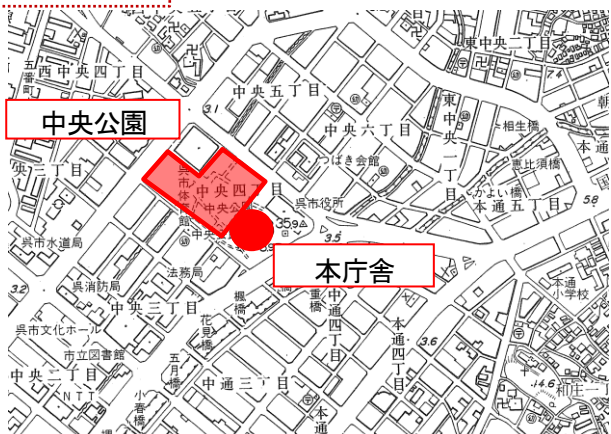
- ▶ 避難所機能
- ▶ 救護機能
- ▶ 防災備蓄機能

中央公園

- ▶ 新庁舎と一体としての防災中核拠点
 - ・ 緊急車両・避難者駐車スペース
 - ・ 救援物資置場
 - ・ 耐震性防火水槽
 - ・ 防災トイレ
 - ・ 炊き出しスペース等
 - ・ ソーラー照明灯
 - ・ 最高津波水位以上の盛土工事

本庁舎

- ▶ 市災害対策本部
- ▶ 情報中核拠点
- ▶ 中央地区の防災総合拠点機能



18 社会資本の適切な維持管理の推進

土木建築局・農林水産局

提案の要旨

将来にわたる安全性の確保と財政負担の軽減を両立させるため、予防保全の徹底に必要な予算の確保と人的・技術的支援等の拡充をお願いします。

現状及び課題

呉市は、戦時中に大規模な空襲により焼け野原となり、終戦直後には枕崎台風により壊滅的な被害を受けたことで、都市の復興が大きな課題となっていました。その後、1946年に制定された特別都市計画法に基づき復興事業を行うべき戦災都市に指定され、社会インフラの整備が急速に行われたことで、短期間で都市を再生することができました。

このため、呉市の社会インフラは1950年から1970年にかけて整備されたものが多く、土木施設の老朽化のペースは他都市を大きく上回っています。例えば、今から10年後に建設後50年を経過する橋りょうの割合は、全国平均は約5割ですが、呉市は約7割となっており、老朽化対策は喫緊の課題となっています。

令和2年3月末時点で、次回点検までに措置を講ずべき道路施設のうち、修繕を終えた割合は、約28パーセントとなっており、修繕工事に必要な予算の確保が大きな課題となっていました。道路については、令和2年度から道路メンテナンス事業補助制度が創設されたことで、計画的な修繕が可能となり、とても感謝しています。急傾斜や公園などのその他の施設についても、点検と修繕工事に必要な予算を十分に確保いただくことをお願いします。

社会インフラが求められる機能を十分に発揮するためには、適切な維持管理が不可欠であり、効率的・効果的な維持管理を行うためには予防保全を徹底することが重要だと考えています。

取組状況等

道路橋りょう等の点検結果

※トンネルの判定IVは仁方隧道で国土交通省直轄修繕代行業により修繕予定

	判定 総数	健全Ⅰ		予防保全段階Ⅱ		早期措置段階Ⅲ		緊急措置段階Ⅳ	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
橋りょう	990	377	38%	437	44%	171	17%	0	0%
横断歩道橋	17	6	35%	5	30%	6	35%	0	0%
トンネル	14	1	7%	8	57%	4	29%	1	7%

事業予定

時期	道路橋りょう等	基幹農道整備事業	公園施設更新
令和2年度	仁方隧道修繕代行 しようぶ山橋ほか17橋	蒲刈大橋・鹿島大橋	西惣付公園ほか 13公園
令和3年度	仁方隧道修繕代行 本川橋ほか22橋	蒲刈大橋	沖田地区公園ほか 20か所

事業経緯

道路事業

令和元年度 橋りょう長寿命化修繕計画改訂
トンネル長寿命化修繕計画策定
横断歩道橋長寿命化修繕計画策定

基幹農道整備事業（農道保全）

平成26年度～ 安芸灘2期地区（蒲刈大橋・鹿島大橋） 事業着手

公園事業

平成27年度 第2次公園施設長寿命化計画策定
令和2年度 第3次公園施設長寿命化計画策定

提案の内容

○ 社会資本の適正な維持管理に係る財源確保と支援の拡充

将来にわたる安全性を確保し、国全体の財政負担を軽減するため予防保全を徹底し、長寿命化修繕計画に基づき計画的修繕が行えるよう点検と対策に必要な予算について、別枠・補助事業による確保をお願いします。

また、効率的・効果的に対策を推進するため、人的・技術的支援の拡充をお願いします。

○ 農道渡海橋の補修支援

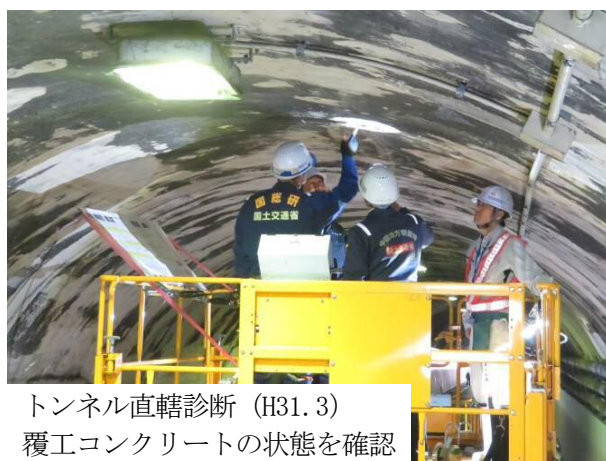
地域の基幹道路として県営事業で建設していただいた農道渡海橋の診断解析や保全対策・耐震補強には高度な技術力が必要なことから、平成26年度から県営基幹農道整備事業（農道保全）安芸灘2地区として保全対策・耐震補強を実施していただき感謝しています。

今後も住民生活に欠くことのできない農道渡海橋の補修支援をお願いします。

修繕予定の橋梁



仁方隧道 修繕代行



農道渡海橋 蒲刈大橋



公園施設更新



19 海岸事業（高潮対策）の早期完成

土木建築局・農林水産局

提案の要旨

巨大地震による津波、気候変動による台風の大型化を見据え、事前防災対策として海岸事業（高潮対策）の早期完成をお願いします。

現状及び課題

呉市は、古くから造船、海運、漁業等の産業や海水浴、クルージングなどのレジャー等、海と向き合い海の恵みを受けながら発展してきた都市であり、呉市の海岸線の延長は、全国屈指であり、県内市町では最も長い336kmあります。

海は、我々に多くの恵みと安らぎを与えてくれるものですが、突然、地震や台風とともに甚大な災害をもたらすこともあり、特に近年では、巨大地震の切迫と異常気象の激化により、災害リスクが高まっています。

呉市は、多くの海岸線を有する上、地形的制約から海と山に挟まれた狭小な土地に市街地が形成されていることから、高潮災害は脅威であり、平成16年には旧呉市及び倉橋町において負傷者17名、家屋全壊11戸、半壊163戸、床上浸水723戸等の甚大な被害が発生しています。

これまで、建設海岸・港湾海岸・漁港海岸・農地海岸と、それぞれの管理者によって、精力的に高潮対策事業を進めていただきましたが、気候変動に伴う海面水位の上昇により、高潮・高波のリスクが増大しており、港湾・漁港等の既存施設の被害も懸念しています。

令和元年度も台風15号・19号により、日本各地で甚大な被害が発生しており、高潮災害を未然に防ぐために、これまでどおり海岸管理者の皆様が連携して高潮対策に取り組んでいただくことと、適切な維持管理を推進いただくことが重要だと考えています。

取組状況等

広島県地方港湾整備促進期成同盟会（会長：呉市長）

構成団体 9市1町（呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、大竹市、東広島市、廿日市市、江田島市、大崎上島町）
令和元年10月・11月 国会議員、国土交通省に要望

広島県漁港協会（会長：呉市長）

構成団体 12市町及び漁業関係者を含む77団体
令和元年12月 自民党広島県連、広島県に要望

整備状況

区分	海岸名	地区名	海岸整備プラン2016※
建設海岸	呉海岸	天応	R2までに完成
		警固屋	R2以降も継続
港湾海岸	蒲刈港海岸	三之瀬	R2以降も継続
		大浦	R2以降も継続
	御手洗港海岸	北堀	R2以降も継続
		南堀	R2以降も継続
漁港海岸	音戸漁港海岸	鯛浜	R2以降も継続
	倉橋漁港海岸	大向	R2以降も継続
		尾立	R2までに完成
		家之元	R2までに完成
農地海岸	倉橋海岸	脇田	R2までに完成
		本倉井	R2以降も継続

※ 海岸整備プラン2016は、県が策定した海岸整備事業に係る5か年実施計画（H28～R2）

提案の内容

○ 高潮対策事業（建設海岸・港湾海岸・漁港海岸・農地海岸）の早期完成

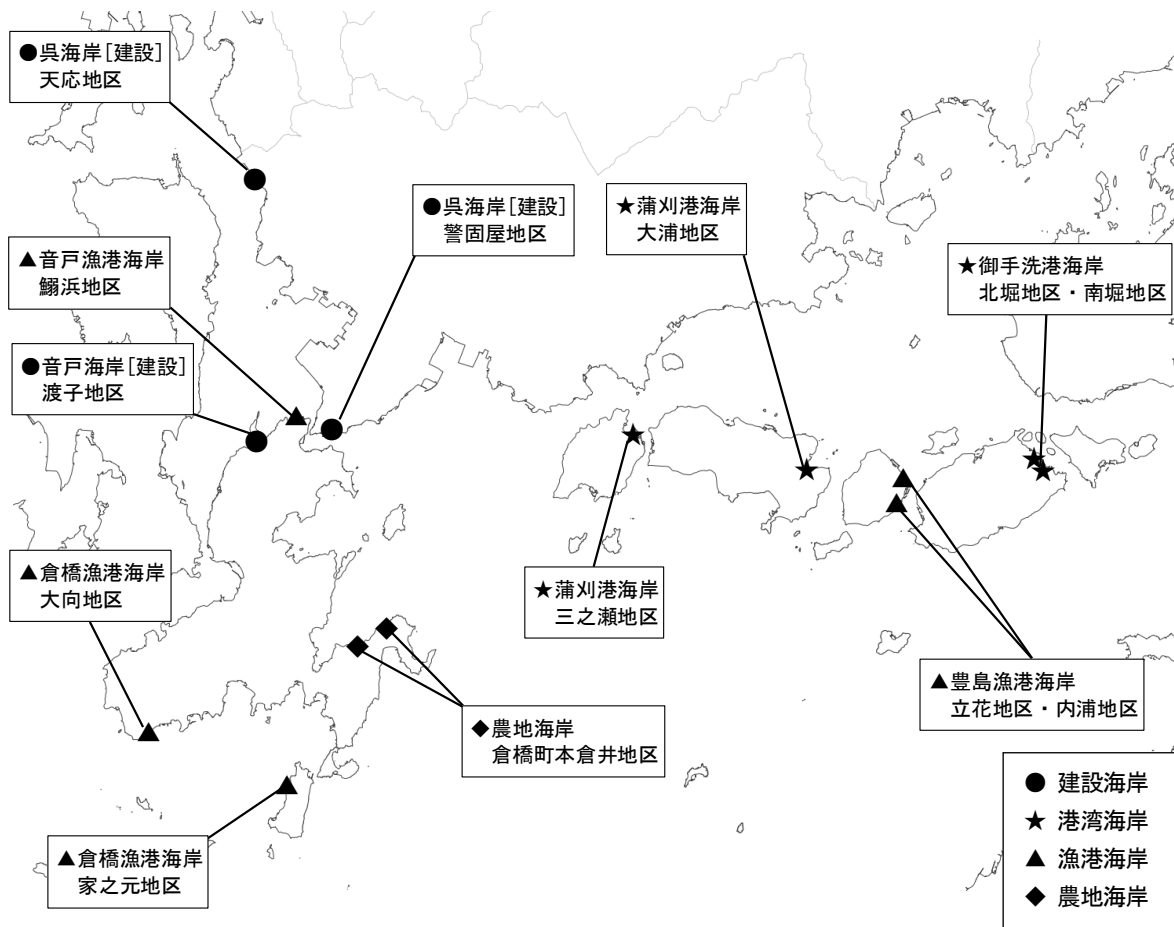
台風・津波等の災害から生命・財産を守るため、ひろしま海岸整備プランに位置付けられた事業の早期完成と、施設が本来有する機能が十分に発揮されるよう適切な維持管理をお願いします。

○ 高潮対策が必要な海岸の早期事業化

大規模な災害に備え、防護が必要な海岸の早期事業化をお願いします。

[新規] 建設海岸 音戸海岸（渡子地区）

呉市域の海岸事業（高潮対策）



高潮による海岸施設・背後人家の被害の軽減



呉海岸天応地区

平成16年被災状況

高潮による農作物の被害の軽減



お宝トマトビニールハウス

農地海岸 倉橋町本倉井地区 平成29年着手

20 地方港湾の整備促進

土木建築局港湾漁港整備課

提案の要旨

地域住民の利便性及び防災力の向上のための地方港湾の整備促進をお願いします。

現状及び課題

呉市は多くの島しょ部を擁し、当該地域における港湾施設は住民生活と産業活動を支える生活基盤であるとともに、背後の人命・財産を高潮・津波等の災害から防護する重要な役割を担っています。

特に、近年、港を取り巻く環境は、地域間の交流や島々を楽しむための観光客の増加など、著しい変化があり、海上交通を活用した港間の交流は地域活性化につながっています。

また、平成30年7月豪雨災害のような大規模災害時において、海上交通は陸路を代替する島しょ部のライフラインとして必要不可欠な交通手段となります。

このため、地域住民の利便性向上による地域活性化、災害時等の際に防災力の向上を図るには、合併建設計画に位置付けられている事業を始めとする地方港湾の早急な整備が重要な課題となっています。

取組状況等

【事業一覧】

港名	地区名	内 容	事業期間	備考
御手洗	三 角	港湾改良事業（防波堤改良）	平成24年度～	合併建設計画
釣土田	藤脇・早瀬	港整備交付金事業（防波堤改良）	平成27年度～	

【要望活動】

広島県地方港湾整備促進期成同盟会（会長：呉市長）

対象港湾：県及び市町が管理する40の港湾

構 成 員：県内9市1町

○広島県と連携して、県及び市町管理の地方港湾に関する、港湾施設整備の促進に積極的に取り組んでいる。

○地元選出国會議員、国土交通省（中国地方整備局含む。）へ要望活動を実施している。

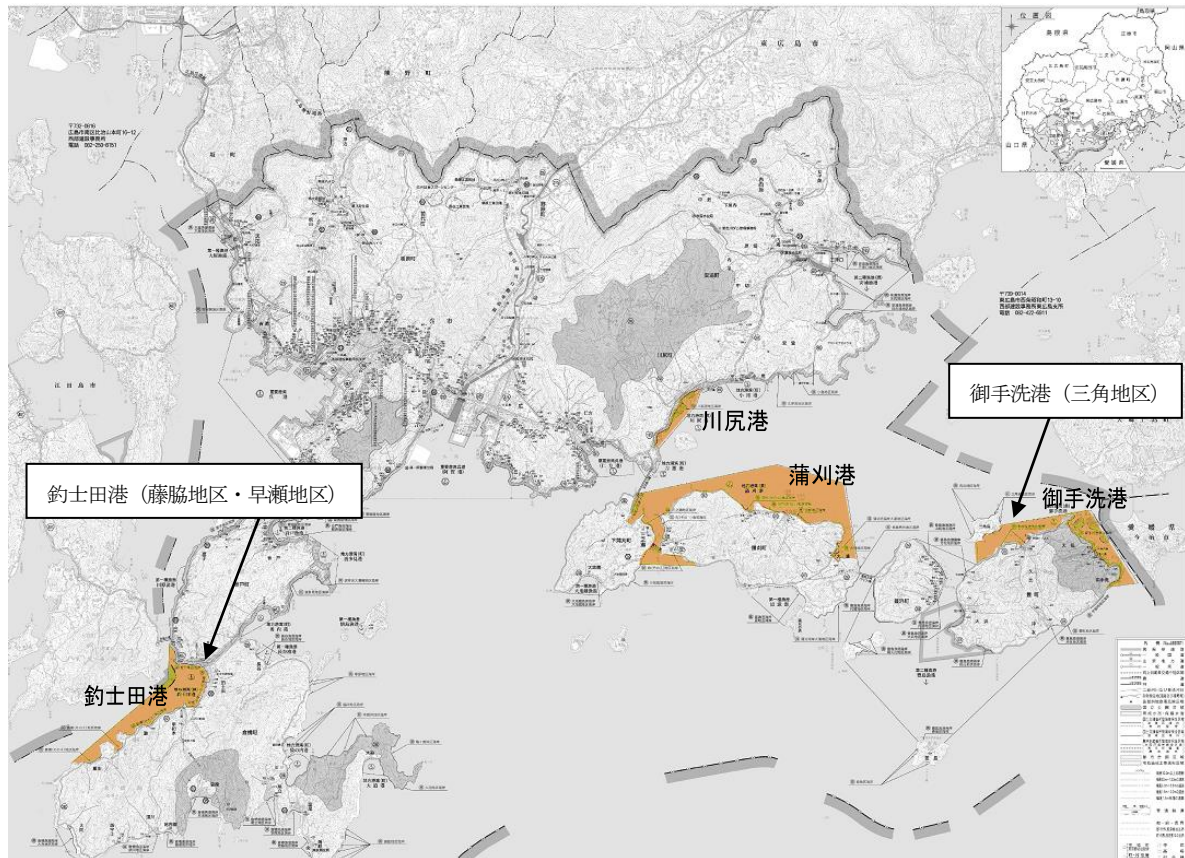
提案の内容

○ 地方港湾の整備促進

島しょ部地域における港湾施設は、地域の物流、産業、生活等の諸活動を支える社会基盤として重要な役割を担っており、当該地域の持続的発展のために、整備の促進をお願いします。

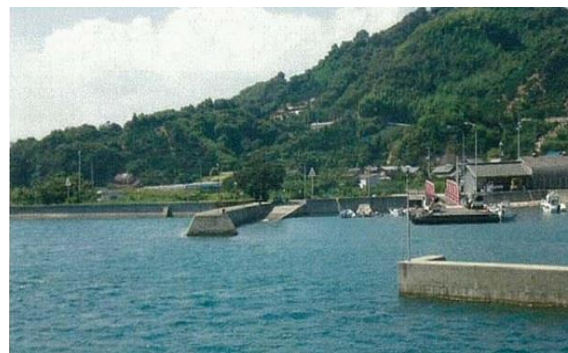
また、台風・津波等の災害から市民の生命、財産を守るため、地方港湾における、防波堤整備等の防災対策の実施をお願いします。

呉市域内の広島県管理地方港湾



釣士田港 (藤脇)
港整備交付金事業 (防波堤改良)

御手洗港 (三角)
港湾改良事業 (防波堤改良)



21 漁港の整備促進

土木建築局港湾漁港整備課

提案の要旨

地域の重要な生活基盤である漁港の整備促進をお願いします。

現状及び課題

呉市は、県内の4分の1の漁業生産を担う県内有数の水産物供給地域であり、特に島しょ部地域等においては、漁業が重要な生活基盤となっており、水産業を魅力ある産業として次世代に伝えていくことは地域の発展に寄与するものです。

また、漁港施設は、地域環境の変化による大規模な自然災害から漁村地域住民の生命・財産を守るとともに、大規模災害時における必要不可欠な地域のライフラインとして、重要な役割を担っています。

これら地域全体の安定的発展のためには、漁港施設の長寿命化を図り、計画的な保全・更新工事を実施するとともに、地域の活性化に向けた漁港の着実な整備が必要となっています。

取組状況等

【事業一覧】

漁港名	地区名	内 容	事業期間	備考
音 戸	鯛 浜	港整備交付金事業（防波堤・浮棧橋）	平成27年度～	
	坪 井	水産物供給基盤機能保全事業（防波堤）	平成24年度～	
倉 橋	室 尾	港整備交付金事業（防波堤）ほか	平成29年度～	
	本 浦	港整備交付金事業（防波堤・浮棧橋）	平成29年度～	
	須 川 外	水産物供給基盤機能保全事業（防波堤・浮棧橋等）	平成26年度～	
豊 島	沖友・丸山	水産物供給基盤機能保全事業（物揚場・浮棧橋等）	平成24年度～	
安 浦	三 津 口	水産物供給基盤機能保全事業（防波堤・浮棧橋等）	平成24年度～	

●市管理漁港

漁港名	地区名	内 容	事業期間	備考
大地蔵	大地蔵	水産物供給基盤機能保全事業（浮棧橋・漁港施設道路）	令和3年度	
田 原	田 原	水産物供給基盤機能保全事業（物揚場）	平成29年度～	

【要望活動】

広島県漁港協会（会長：呉市長）

対象漁港：県及び市が管理する44の漁港

構 成 員：県内12市町及び漁業関係者を含む77団体

○広島県と連携し県及び市管理の漁港・漁場の環境整備等の促進について積極的に活動している。

○自由民主党広島県支部連合会及び広島県へ要望活動を実施している。

提案の内容

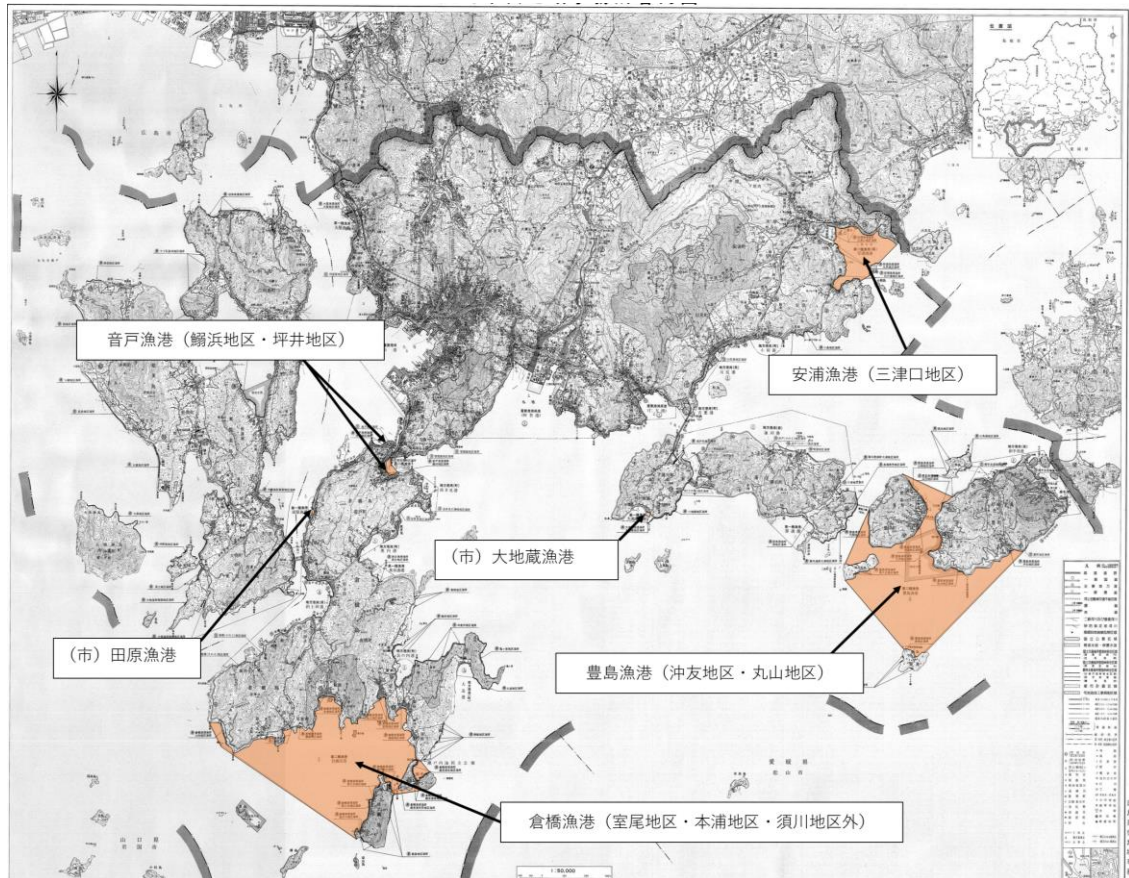
○ 漁港の整備促進

県管理漁港（第2種漁港：4漁港）について、機能保全計画に基づく保全工事の実施をお願いします。

また、安全で効率的な漁業活動のため、防波堤や浮棧橋の整備をお願いします。

なお、市管理漁港（第1種漁港：2漁港）につきましても、併せて整備に必要な予算の確保をお願いします。

呉市域内の漁港



倉橋港（本浦）
港整備交付金事業（浮棧橋・防波堤）



豊島港（丸山）
水産物供給基盤機能保全事業（浮棧橋修繕）



24 創業支援その他の地域経済活性化

商工労働局

提案の要旨

新産業団地の開発、起業・創業支援その他の雇用促進等に係る地域経済活性化策の推進をお願いします。

現状及び課題

呉市においては、呉地域の創業・雇用促進、地域の活性化等に向け、これまで、創業相談事業を始め、来てくれ店舗公募事業、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した起業家支援プロジェクト、リノベーションまちづくり事業といった起業・創業支援や街のにぎわいづくりのほか、国からの委託事業である実践型地域雇用創造事業や産業団地の分譲による雇用促進に取り組んできました。

まず、産業団地の分譲については、長年にわたり苦戦を強いられてきましたが、現在は阿賀マリノポリス地区埋立地の工業用地等の分譲も順調に推移し、今現在も、企業の投資意欲は旺盛な状況です。

一方で、内陸部においては、事業用地の確保に苦慮していることから、新たな産業団地を確保する必要がある、できる限り早期の事業着手に向け、適地調査等を実施しているところです。

次に、起業・創業支援については、引き続き起業家支援プロジェクトやリノベーションまちづくり事業などを実施するとともに、若者や女性など起業を迷っている方についても、呉市、支援機関、金融機関がオール呉として情報発信や無料相談、創業支援セミナー、創業カフェなど、起業・創業をサポートする取組を行っていきます。

また、昨年7月には、「くれワンダーランド構想」の取組として、呉市の中小企業・小規模企業の自助努力と創意工夫を地域社会全体で支援するため、呉市中小企業・小規模企業振興基本条例を制定するとともに、経営者や有識者等から広く意見を聴く場を設け、今後、具体的な施策に結び付けることとしています。

なお、日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区(旧日鉄日新製鋼(株)呉製鉄所)の全面休止の発表や、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の中小企業・小規模企業を取り巻く環境は更に厳しさを増す状況となっています。

取組状況等

【阿賀マリノポリス】

平成 6. 1 0	阿賀マリノポリス地区埋立地	工事着手
平成 2 9. 4	苗代工業団地第2期	完売
平成 3 0. 2	苗代工業団地第1期	完売
令和 元. 7 ~	阿賀マリノポリス地区埋立地港湾関連用地Cブロック分譲	
令和 2. 1 ~	同上	港湾関連用地Eブロック及び工業用地Hブロック分譲開始

【呉市中小企業・小規模企業振興基本条例等】

平成 3 0. 5 ~平成 3 1. 4	呉市中小企業振興基本条例(仮称)制定検討懇話会	計5回開催
平成 3 0年度	くれワンダーランド構想推進会議	計4回開催
令和元. 7	呉市中小企業・小規模企業振興基本条例制定	
令和 2. 1	第1回呉市中小企業・小規模企業振興会議開催	

【新産業団地】

平成 3 0. 1 0 ~平成 3 1. 3	内陸部産業団地適地調査実施
---------------------------	---------------

【日本製鉄(株)】

令和 2. 2	呉製鉄所の高炉の休止及び閉鎖の発表
令和 2. 2	日鉄日新製鋼(株)呉製鉄所に係る合同緊急対策本部の設置
	日鉄日新製鋼(株)呉製鉄所に係る呉市対策チームの設置

提案の内容

○ 新産業団地の開発、起業・創業支援その他の雇用促進等に係る地域経済活性化策の推進

呉市における新産業団地の開発に伴う財政支援等の強化とともに、起業・創業及び雇用促進並びに街のにぎわいづくりに資する事業の推進に向けて連携の強化をお願いします。

呉市内陸部産業団地位置図



(参考) クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した起業家支援プロジェクト

施策推進のイメージ

